

## 令和3年度 第2回理事会議事録

1. 開催日時：令和3年7月27日（火）17:30～18:45
2. 開催場所：Zoom会議
3. 出席者  
理事：青木究 岡田未奈 小野達也 喜井澄香 清水俊行 高瀬和則 成高有哉 久枝正実  
野村祐介 宮崎昌彦 山本良輔  
監事：宇都宮卓治 田邊芳郎  
欠席者：山田文哉
4. 議事
  - 1) 開会の挨拶  
宮崎会長より理事会開催の挨拶があった。
  - 2) 書記の選出  
宮崎会長より野村事務局長が書記に選出された。
  - 3) 委員会報告
    - ・ 学術大会準備委員会より委員会名を「学術大会準備委員会」から「学会準備委員会」への名称変更の承認を頂きたいと提案があり、満場一致で承認された。
    - ・ 災害対策委員会より災害ネットワーク手段周知のため、災害対策委員会と愛媛県人工透析研究会との連携を承認して頂きたいと提案があった。協議の結果、連携は必要であり、今後どのような形で連携を行っていくかは、その都度理事会でも協議を行いながら決定していくことで承認された。
    - ・ 呼吸療法委員会より本年度はWebセミナーを開催する予定であるが、“呼吸療法認定士”のポイント認定は難しいため断念するとの報告があった。
    - ・ 宮崎会長より手術・機器管理委員会に対し今年度は会誌での情報発信を行うとの報告を受けたが、Webセミナーの開催を再度検討する旨、依頼があった。
    - ・ 清水副会長より委員会の開催形式について各委員会“Zoom会議”もしくは“メール会議”で実施しているが、改めて規程を見直すとメールでのやり取りは“会議”とは言えないのではないかと意見があった。その他“メール会議”は出欠確認が曖昧であること、“Zoom会議”は直接ではないものの複数の顔を見て会話をすることが最大のメリットであり、技士会で契約を行っているので積極的に活用すべきなどの意見があった。共通認識として今後のWeb会議は、出欠確認と日時を決めて“Zoom会議”を実施することで満場一致で承認された。
  - 4) 中四国連絡協議会の報告  
各担当者より組織委員会(別紙1)、学術委員会(別紙2)、事務局会(別紙3)、若手委員会(別紙4)の報告があった。
  - 5) 日本臨床工学技士学会代表者会議、総会の報告  
宮崎会長より代表者会議では臨床工学技士の業務範囲の追加と厚生労働大臣指定による研修の今後の予定についてと新型コロナウイルスワクチン接種に関する臨床工学技士の活用に関する説明があった。  
清水副会長より日本臨床工学技士会総会については用意されたすべての議案が可決されたと報告があった。また総会後は代議員向けに告示研修の説明会があったと報告があった。
  - 6) 年会費の納入方法について  
清水副会長より、現在の納金方法はゆうちょ銀行への振込みのみであり、その納金確認は事務局長が行っている。今後多様な納金方法(自動引落・クレカ等)に対応し、さらにこれらの集金を集金代行業者に委託することで年会費徴収の効率化と業務軽減を図りたいと提案があった。  
協議の結果、代行業者をいくつか選別し理事会承認を得ながら話を進めてゆく方向で満場一致で承認された。
  - 7) 聖カタリナ大学 看護学科非常勤講師の派遣について  
宮崎会長より聖カタリナ大学から再来年の開講のため来年秋頃までに講師を決定して欲しい旨依頼あり、当会の窓口で清水副会長が務めると先方へ報告している旨説明があった。
  - 8) 日本臨床工学技士会第7期代議員地区代議員選挙について  
本選挙についての愛媛の定数2名の県推薦の人選について協議を行った。協議の結果、現職の清水・野村を引き続き県推薦とすることで満場一致で承認された。

9) 事務局報告

野村事務局長より新入会員 23 名、学生会員 67 名、退会 3 名の報告があり、満場一致承認された。

10) 第 3 回理事会の日程…11 月頃を予定。

5. 議事録確認

野村事務局長より議事録の確認があり満場一致で承認された。議事録には出席した理事及び監事が記名押印する。

出席理事

宮崎昌彦	清水俊行	喜井澄香	野村祐介	青木充	岡田未奈
小野達也	高瀬和則	成高有哉	久枝正実	山本良輔	

出席監事

宇都宮卓治	田邊芳郎
-------	------

6. 閉会挨拶

清水副会長より閉会の挨拶があった。

日時：令和3年4月9日(金) 19:30～ 20:45

場所：Zoom web会議

<出席者>

鳥取県：前根 晃彦 島根県：福田 勇司 広島県：高橋 秀暢

山口県：和久 益寛 香川県：白川 憲之 徳島県：福原 正史 高知県：村上武

愛媛県：清水 俊行 岡山県：西江 和夫 日臨工理事：野村 知由樹 日臨連：肥田 泰幸

オブサーバー：高山 享：日臨工監事

<欠席者>

青木日臨工専務理事 宮崎 昌彦(愛媛県)

司会：福田 書記：西江

<添付資料>

- ・ 資料1 中四国臨床工学技士会連絡協議会 組織委員会細則
- ・ 資料\_1-2 中四国臨床工学技士会連絡協議会 担当県細則
- ・ 資料2 (公社)日本臨床工学技士会 令和2年度第2回 組織強化職能委員会 議事
- ・ 資料2-2 (公社)日本臨床工学技士会 令和2年度第3回 組織強化職能委員会 議事
- ・ 資料3 第1回組織強化職能委員会 議事録(確定版)
- ・ 資料4 公益社団法人日本臨床工学技士会中四国ブロック代議員選出選挙及び内部役員候補者選出選挙に関する合意書
- ・ 資料5 中四国臨床工学技士連絡協議会 功労者表彰規定
- ・ 資料6 第1回中四国臨床工学技士会連絡協議会事務局会(議事要旨)

<議案>

委員会冒頭に、WEB上で参加者の音声の確認と、今回より、高知県の組織委員に武島氏⇒村上氏となる旨が報告された。

#1. 組織委員長、副委員長、書記の選任(資料1 組織委員会細則)

「第8条 委員長及び副委員長の選任は、期首の委員会時に委員の中より互選とする」

選挙管理委員野村氏より、会議参加中9県参加の投票結果、委員長：福田氏、副委員長：白川氏、書記：西江となったことが報告された。

#2. (公社)日本臨床工学技士会 組織強化職能委員会報告

福田日臨工組織強化委員より委員会報告(資料2、3)

(公社)日臨工の方向性、組織体制、プリバド活用、現状アンケートなど事業の方向性や、特に今後は(公社)日臨工と都道府県の関係性を強化の方針の元、各種企画(CAG2020)、タスクシフト、シェア(研修開催の連携)各ブロック単位で選挙管理委員の設置を進めたい説明があった。

野村副理事長、高山監事からは、(公社)日臨工の各委員会のロードマップ/タイムスケジュールの見える化や配信(例：Yボードの動画配信)など、都道府県への発信を進めていきたい説明があった。

(公社)日臨工の退会者の理由調査については、WGで検討しているとのことであった。

## 別紙①

### #3. 中四組織委員会細則および担当県細則（資料1 組織委員会細則、1-2 担当県細則）

- ・ 組織委員会細則についての書記長の追記については既に承諾済。
- ・ （公社）日臨工理事・監事の中四国連絡協議会の派遣費用について  
ブロック理事（現：肥田理事）は、（公社）日臨工より派遣（出張）の扱いとなる方向である。理由は日臨工と中四国との意見の疎通を積極的に行うことが責務より問題ないので提案されることになった。その他は所属技士会負担で合意が得られた。
- ・ 担当県細則に記載してある内容は、各県事務局に関する案件が多くあるため、今後事務局会で協議し連絡協議会で承諾を得る方向で調整となる見通し。

### #4. 「日本臨床工学技士会役員選挙」について（資料4 内部役員候補者選出選挙に関する合意書）

選挙日程は不明だが、プリバドを使用すること含めスムーズな協力体制をお願いしたい。  
代議員選挙は（前回8月スタート）、早くなる可能性がある。いずれにしても情報共有していく。

### #5. 日臨工代議員「中四推薦者」活動報告について

日臨工の当ブロック選出7名の代議員は活動報告書をメールにて提出をお願いする。

6月末までに報告をお願いしたい（様式あり）

光家氏、栗原氏、小川氏 山田氏 高山氏、青木氏、肥田氏

### #6. 中四国連絡協議会 HP について

- ・ まずは、連絡協議会メンバーから使用していくことになった。
- ・ リンクは可能なので、またサイトでのアーカイブも可能なので申し出てほしい  
（管理者：肥田氏、藤原氏(岡山)）
- ・ 現在同じ管理会社を使用している広島県より、サイトの対応は早くはないが、確実である感想があった。

### #7. 中四国臨床工学技士連絡協議会 功労者表彰（資料5 功労者表彰規定）

担当県香川より功労者表彰についての依頼があった。推薦状の内容について協議したが特に変更点はなかった。後日改めて香川県事務局より各県へ案内があるため該当者がいる県は、推薦状を提出することとなった。

その他

#### 1) 「特定集中治療室管理加算」中四実態調査

2018年12月にアンケートより3年毎調査から5年毎調査へ変更（H31 春の連絡協議会組織委員会確認済）。次回は、2023年12月予定である。

#### 2) コロナ禍で総会の形式について各県の予定が報告された

・ WEB+書面：4県    ・ WEB+少人数対面：2県    ・ 少人数対面+書面：3県

#### 3) 総会の日程を肥田理事まで報告をお願いしたい。連盟について説明時間をお願いする予定である。尚（公社）日臨工のロードマップに選挙に関する内容も追加することも検討されたい。

以上

## 中四国臨床工学技士会連絡協議会 2021年度第1回学術委員会

### 議 事 録

日 時：2021年3月31日 19:00-20:20

場 所：Zoom ミーティング

出席者；※敬称略

島根県：藤松 祐輔

岡山県：堀 純也

山口県：安本 圭亮

香川県：東山 智香子

高知県：仙頭 正人

業務等の諸事情による欠席者

鳥取県：藤原 弘昌

広島県：栗原 大典

徳島県：川久保 芳文

愛媛県：山田 文哉

#### 1. 通信状況の確認

会議に先立って、参加者の音声、画像等の通信状態が良好で問題なく意思疎通ができる状態であることを確認し議題の審議に入った。

#### 2. 委員長、副委員長、書記の選出

中四国臨床工学技士会連絡協議会 学術委員会細則 第9条および10条に基づき、下記の通り委員長、書記が選出された。

委員長：東山智香子

書 記：堀 純也（副委員長との兼務）

#### 3. 2021年度中四国臨床工学会について

学会担当県の東山委員より現状での開催概要について以下の報告があった。

##### (1) 会場・開催概要について

2021年10月2日（土）～3日（日）の2日間にわたってのハイブリット開催。

ライブストリーミング配信枠：当日のみの配信

Web会場（一般演題等）：事前録画した発表を配信後、可能であればライブで質疑応答

※Web会場については会期終了後も一定期間オンデマンドで配信する予定。

一般演題については、前回の会議で録画配信をし、座長を置かないとしていたが、座長置いて、録画配信後に質疑応答ができないか検討中。

質疑応答は、Zoomのチャット、Q&A（Webinarの場合）、掲示板等を用意して書き込むなどの方法で最適なものを模索している段階。

学会ホームページが現在、正式に立ち上がっている。

## 別紙②

ホームページの中では、一般演題の募集を3月29日から行うことになっているが、セキュリティ強化のため、SSL化（http→https への変更）作業に伴い、4月以降にずれ込む見通しとなっている（募集が開始できるようになった段階で後日連絡をする）。

### (2) 座長選択について

- ・ライブ配信会場の座長は可能な限り、現地来場できる人の選出を希望している。  
ただし、コロナ禍の状況次第でオンライン参加での座長も可能とする。  
※座長は2人体制とし、1人は香川県から選出して不測の事態に対応できるようにする。
- ・一般演題座長は例年通り各県技士会に依頼予定  
※各県へ2～3人程度を依頼予定（座長の必要人数が確定次第連絡）  
※募集の際には担当できる分野を第3候補程度記載してもらう。  
※依頼時期は6月～7月前後になる予定。
- ・主要講演座長については、個人を指名する場合も香川県から各県技士会を通して依頼する予定。
- ・学会開催当日に連絡協議会が開催される場合は、連絡協議会に参加される方を念頭に選出することを考慮する。

### (3) 演題の査読、BPAの審査内容について

- ・演題募集は4月～5月中を予定しており、6月上旬に査読作業に入る予定。
- ・査読については、徳島県の演題登録システムを運用していく予定で調整中。
- ・査読方法は前年までと大きく変更はないが、オンライン開催であるため、当日の発表審査項目については検討が必要。

以前の審査項目は以下の通り

- 「発表態度」
- 「スライドの見やすさ」
- 「声の大きさ」
- 「時間」

※録画発表でも審査可能

- 「スライドの見やすさ」
- 「時間」：録画なので編集によって時間を合わせてくる可能性はある。

※録画発表であるため審査できない項目

- 「発表態度（原稿を見ずに発表しているかなど）」。
- 「声の大きさ」

→例えば「説明のわかりやすさ」などに変えれば審査可能になる。

## 別紙②

項目については、香川県で検討の後、連絡するので、ご意見を頂きたい。

なお、審査項目はホームページ上に明記する

- ・ BPA とは別の優秀演題賞について  
前回の会議で、BPA とは別の優秀演題賞を用意するとしていたが、  
検討の結果、BPA のみにすることになった。

### (4) 学術委員会企画について

- ・ 前会議で「抄録の書き方」を基準に少し発展させた「臨床研究の方法」について外部講師に講演してもらう方向となっている。

以前に候補として挙がっていた九州大学の先生に依頼可能か、川久保委員に確認することとなった。

外部講師の交通費・謝金について

主要演題等の講師と同様の扱いとし、開催県の学会運営費用の中で支弁することが確認された。

※恐らくオンラインで参加していただき、規定の謝礼のみを支払う形式になる。

### (5) ホームページ・演題登録システムについて

- ・ 第 11 回中四臨床工学会では、徳島県の演題登録システムを活用予定で調整中。

今後の運用方針や Medikiki.com のホームページ活用方法、独自ドメインの取得については、この度立ち上がった事務部門とも協議しつつ継続審議とすることが確認された。

## 4. 臨学産連携推進事業について

- ・ 香川県臨床工学技士会と川久保氏で協議中。四国経済産業局と開催予定のものを中四国臨床工学会内もしくは共催で開催する内容で検討中

※香川県臨床工学技士会の臨学産担当者である樫野氏と川久保委員とで審議中。

シーズ、ニーズのマッチングを行うに当たって、第三者の盗用のことを考えると対面個別での実施、あるいは誰でも見られないようなシステム環境を準備する必要性があるのでそのあたりの調整がなされていると思われる。

## 5. その他

- ・ 中四国臨床工学技士会連絡協議会 学術委員会細則改定案(資料)の確認が行われた。  
→特に修正意見も出なかったため、確定となった。

## 別紙②

- ・東山委員より、以前の学会開催時に養成校の担当者の調査を行っていたことがあったが、どのような目的で調査していたのか質問があった。

- ・学会開催中に養成校の紹介ブースを設けていたので、その案内のため。

- ・学生演題の募集をアナウンスするため。

- ・当日の運営スタッフとして学生に依頼するため

などの用途であったと思われるという意見が挙げられた。

今回の学会で養成校の担当者の一覧表を作成するかについては、持ち帰って香川県臨床工学技士会で検討することとなった。

- ・藤松委員より各県でこれまでに実施してきた中四国臨床工学会の運用データの共有方法について、今後は、クラウド等に保存して共有できないかという提案があった。

内容を精査した上でクラウド上に保存しても問題ないデータを蓄積して共有することは有用であるため、ホームページの運用と併せて継続して審議していくこととなった。

- ・安本委員より学術委員会の開催時期について確認があった。

通常は4月の連絡協議会（全体会）の午前中と中四国臨床工学会開催時の2回だが、コロナ禍で直接集まれない状況なので、Zoomを利用して変則的に行われている状態であることが確認された（本日の会議は通常4月に行われている会議に当たる）。

以上で、2021年度第1回学術委員会を終了した。



## 別紙③

(その他)

- ・災害状況発生 の報告について情報共有

2020年7月14日(火) 13:20 付、日臨工 野村副理事のメールへの対応

各県で災害被害などが発生した場合は、ブロック担当 肥田常任理事、もしくは野村副理事へ連絡

- ・Web 会議システムの購入 (支払いについて)

Zoom など Web 会議システムの購入について、どのようにしているか

- 技士会のクレジットカード作成が望ましい  
個人購入などで対応している県もある

- ・年会費徴収

未納会員への対応に苦慮しているが各県はどうか

- 払込取扱票による振込み  
総会など対面で現金徴収であったが、コロナ禍で引落としや振込みの対応  
入会時に口座振替を徹底 (入会完了まで2ヵ月程度かかる)  
口座振替と払込取扱票で対応

今後、クレジット払いなどが可能か

- 手数料が問題か (督促などの手間を考えれば導入も可能か)  
連盟はクレジット払い  
スマホ決済なども検討が必要かも

以上をもって、会議を終了する

## 別紙③

会議名称 第1回 中四国臨床工学技士会連絡協議会 事務局会 議事録

日時 2021年3月22日(月) 19:30~20:10

開催形式 zoomによる開催

出席委員 雑賀真也(鳥取県)、野村祐介(愛媛県)、兼長貴祐(広島県)、斧 武志(高知県)、  
林 博之(徳島県)、藤原千尋(岡山県)

欠席委員 塩見 基(香川県)、松山法道(山口県)、宅江呂剛(島根県)、山本晃市(香川県)

会議進行, 書記 藤原千尋

会議に先立って、出席者の音声・映像が即時に全ての出席者に伝わり適宜意思表示が適切に伝わる Web 会議環境であることを確認した。

### (事務局会の方針)

各委員会が抱えている事務的な業務を提示していただき、対応していく

### (報告事項)

・第11回中四国臨床工学会(香川県)について

会期 2021年10月2日(土)・3日(日) + Web開催(オンデマンド配信予定)

会場 かがわ国際会議場

大会ホームページ <http://www.meetingnavi.com/csce11/about.html>

情報共有や各県への依頼事項などありましたら、お示しいただければ幸いです。

→ 香川県担当者不参加のため、メールにて情報共有をお願いする

### (検討事項)

・連絡協議会ホームページについて

組織委員会福田委員長よりメールにてML登録の現状報告あり(達成度30/50名)

登録の促進および運用について検討(提案など)

2020年11月27日連絡協議会では、①連絡網の作成、②詳細な運用方法の検討となっている

→ まずは、残り20名の登録を各県事務局へピンポイントでお願いする

会議後、リスト配布

登録完了したら、藤原へフィードバックいただく

その後、肥田さんとML運用方法について事後の調整が必要

2021年度 第1回中四国臨床工学技士会連絡協議会 若手委員会  
議事録

日時：2021年4月6日（火曜）19:00～20:10

場所：Web会議（Zoom ミーティング）

<出席者>

鳥取県：金崎 俊介      島根県：福島 成文      岡山県：佐々木 新  
広島県：吉山 潤一      山口県：鈴木 雄揮      香川県：石川 朋宏  
愛媛県：小野 達也      徳島県：山下 翔      高知県：中川 弘之  
高知県担当変更：安岡 良訓

<司会>

石川 朋宏（香川県）

<書記>

佐々木 新（岡山県）

<議案>

- #1. 各県の活動状況の報告
- #2. 日本臨床工学技士会 人材活性化委員会
- #3. 中四国若手委員会 HP「3海ネット」について
- #4. コロナ禍における若手委員会の活動について
- #5. 2021年（第11回）香川大会 活動予定
- #6. 2022年（第12回）岡山大会 活動予定
- #7. その他、報告、連絡

会議に先立って、通信状況が良好であり、出席者の映像および音声が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認し、審議に入った。

#1. 各県の活動状況の報告

鳥取県

- ・前回からの活動はできていない

島根県

- ・昨年度はY・ボードとしての活動はできていない
- ・今年度の活動計画として下記を検討している
  - ・夏～秋頃：親睦会（WEB ミーティング）、Y・ボードセミナー
  - ・9月頃：お仕事体験 KIDS フェス（山陰中央新報社主催）に出展予定
  - ・11月頃：出雲産業未来博 2021（出雲市主催）に出展予定

岡山県

## 別紙④

- ・就職活動を目的とした病院紹介事業を検討中
  - 開催日及び方法：8月21日、28日のいずれか、zoomを使用したオンライン開催
- ・岡山県臨床工学技士アピール事業（内容未確定）
  - 10月ごろを予定
    - トマト銀行のリレーマラソンがリモートで実施+web懇親会
    - リモート事業に臨床工学技士として参加してはどうか？
- ・Y-CUP ミーティング（内容未確定）
  - 2021年1月 or 2月を予定
    - 若手交流を目的、他施設紹介、業務紹介、からの懇親会（web）

### 広島県

- ・webセミナー2件（フレッシュャーズセミナーとオープンカンファレンス）と、オンラインで新年会を実施した。コロナの影響でスポーツ観戦や対面で開催していた他の委員会の支援は中止となった。
- ・2021年度も同様の形式で活動を行う予定である。

### 山口県

- ・2020年度は若手委員会の活動としては行っていない
- ・県技士会としては循環・代謝・呼吸・機器管理の内容で合同セミナーをWEBで開催した
- ・2021年度に関しては5月のこどもの日に合わせキッズセミナーを行っていたが、今のところ中止にしている。また、少し時期をずらして開催を行いたいと思っている。毎年恒例の福岡県との若手委員会合同セミナーも未定である。

### 徳島県

- ・2020年度は若手委員会としての活動は行っていない
- ・他の委員会では、webセミナーの開催や、会誌への記事掲載等の活動を行っている
- ・今年度は現在未定であるが、当県学術委員と共同にてWEBセミナー等を検討している

### 香川県

- ・11/15 第1回組織若手委員会主催セミナー（臨床工学技士として臨床現場で必要な力とは？）をWeb開催
- ・3/9 第2回組織若手委員会主催セミナー（今だからこそ知りたい！感染対策基礎セミナー）をWeb開催
- ・今後も定期的にWebセミナーを中心に開催する予定である

### 愛媛県

- ・2020年度は、若手委員会としての活動は行っていない
- ・他の委員会では、webセミナーの開催や、会誌への記事掲載等の活動を行っている
- ・今年度については現在のところ未定だが、他県の活動を参考にさせていただきながら、活動内容を模索したいと考えている。

高知県

- ・前回からの主な活動は行っていない
- ・技士会便りの発行を行った
- ・今後は状況を見ながら何らかの形で活動を行いたい
- ・今年度より高知県の担当が変更になる→安岡 良訓

#2. 日本臨床工学技士会 人材活性化委員会

- ・人材活性化委員会 HP 更新
- ・養成校対象 技士会入会促進 Movie 作成
- ・第1回全国 Y・ボード担当者会議 2021年3月6日
- ・第31回日本臨床工学会関連事業
  - 第7回「ここにジーンとくる！いのちのエンジニアのはなし」
  - わい Y・ボード展示会（若手活動ポスター） 4/16
- ・CE 通称統一 WG

入会案内パンフレット→各養成校の必要部数を配送準備済み

シープリンメイククリア→全校へ配送済み

動画確定後、YouTube 登録し臨床工学技士教育施設協議会に URL を送付

#3. 中四国若手委員会 HP「3海ネット」について

- ・2021年3月時点での更新状況
  - アクセスできない？ 岡山県 HP のサーバー不具合により閲覧できない
- ・今後の方針
  - コロナ禍で事業自体がないので、今後活動した事業について適宜アップしていく

#4. コロナ禍における若手委員会の活動について

- ・講師選定、打ち合わせ、依頼等をどうやっているか？
- ・面識のある業者や技士に依頼する（賛助会員など）
- ・Web 形式では長い講演は向かない？ 30分/1コマ
- ・事業開始前に集まって打ち合わせする
- ・事前に打ち合わせを何度か Web で行った
- ・日臨工を介して講師派遣依頼を行った
  
- ・会議交通費等の支払い 対面の際に支払う、オンライン時は送金（謝礼、経費）
- ・クオカードペイ（オンライン）→コード発行、メールで送る、領収書出る、発行手数料ある、
- ・講師謝礼→口座へ振り込み

## 別紙④

・お金にまつわる話→日本銀行 金融広報委員会（各県にある？） 講師派遣してもらう

#5. 2021年（第11回）香川大会 活動予定

・若手委員と学生によるコラボ企画を検討中

#6. 2022年（第12回）岡山大会 活動予定

・Y-CUP 委員会で協議中、第2回で報告予定

#7. その他、報告、連絡

・令和3年度 中四国連絡協議会若手委員会 委員長：石川、副委員長：佐々木

・